

「インド史」の歴史

前近代インド・イスラーム社会における通史的歴史叙述

報告者 **真下 裕之** 氏 (神戸大学大学院人文学研究科准教授)

日時：2012 年 **2 月 13 日 (月)**
14:00 ~ 15:30

場所：神戸大学大学院国際文化学研究所
学術交流ルーム (E 棟 4 階 410)

入場：無料 (申し込み不要)

概要

ある地域の通史的歴史叙述は、当事者たちが自らの過去をいかに整理したかを反映している。それゆえ最近のイスラーム史研究においては、そのような「歴史の歴史」(ヒストリオグラフィー)が重要な研究対象となりつつある。それでは 13 世紀にインドの歴史の舞台に登場したムスリム諸国家とイスラーム社会は、それ以前のインド史をいかに整理し、自らの前史としたのであろうか。本報告では、前近代のインド・イスラーム社会で著述された歴史書を材料にして、このような「インド・イスラーム前史」のヴァリエーションとその展開について論じる。

お問い合わせ (神戸大学大学院国際文化学研究所)

中村寛研究室 TEL: 078-803-7401

E-Mail: satnaka@kobe-u.ac.jp



会場への交通

阪神「御影」、阪急「六甲」、JR「六甲道」下車。
市バス 16 系統「六甲ケーブル下」行に乗車。
「神大国際文化学部前」下車。徒歩 3 分。

※阪急「六甲」より徒歩で 20 分ほどですが、急な坂道ですので、上記バスのご利用をお勧め致します。